

Part 1

一緒にする！

「明石の協働事例」

協働ってなに？ その疑問をシンプルに考えると色々なカタチで市民と「一緒にする」ことだと考えました。では、「一緒にする」ことにどんな成果があるのか、明石市の事例を集めてみました！

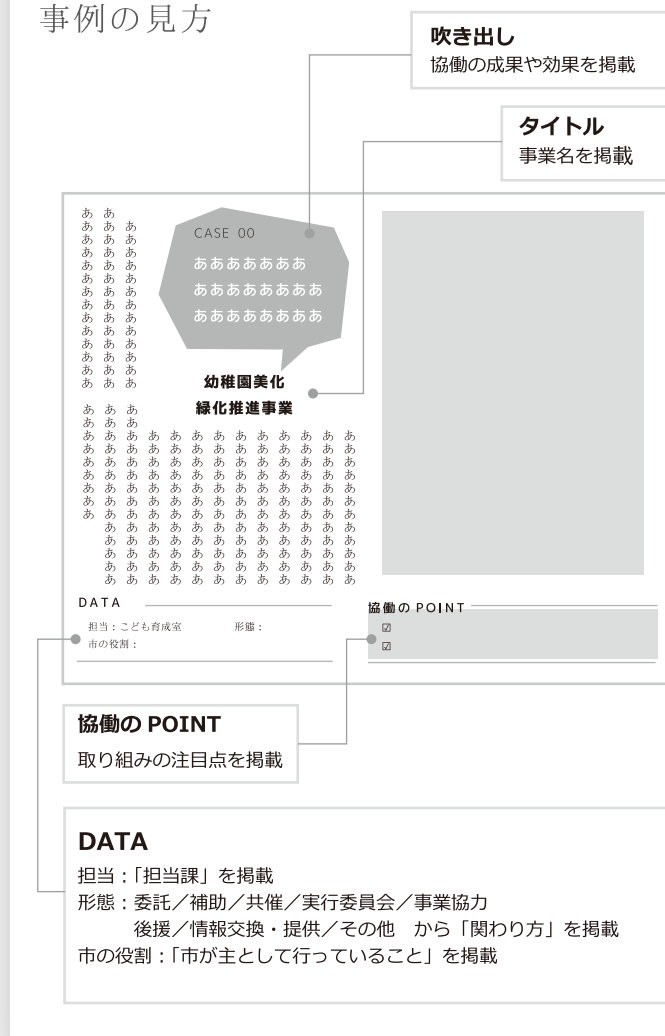
25 の協働事例

協働しよう！とはよく聞くけれど、なんだか「事業を新しくスタートするものなの？」と想像しがちです。そんなことはありません。いま進めている事業や仕事のなかでも十分協働していくことができます。実際に明石市では既存の事業を協働という方法で、成果をあげている事例が数多くあります。

Part 1では、明石市の協働事例をもとに、取り組みの成果、ポイントを紹介します。

※今回、紹介している事例がすべてではありません。また、必ずしも成功している！というわけではなく、取り組みの途中という事例もあります。協働のイメージを膨らませていただくために多くの事例を掲載しました。

事例の見方



子ども

- P.08 「あかし子育て応援企業」認定事業
- P.08 みなくる（子ども図書館）
- P.09 赤ちゃんの駅
- P.09 子育て学習室
- P.10 幼稚園美化・緑化推進事業

ほかにも

成人式／ブックママ／こども夢文庫
移動プレイルームてくてく／放課後子ども教室

安全安心

- P.10 スクールガード
- P.11 救急インストラクター
- P.12 安全・安心パトロール

ほかにも

子ども防火防災教室／こども110番の家
道路安全モニター／地域の防災訓練を支援
シルバーリーダー／海岸モニター／青少年補導委員会

健康福祉

- P.13 健康ソムリエ
- P.14 明石市高齢者見守りネットワーク事業

自然環境

- P.14 再生資源集団回収活動
- P.14 レジ袋削減に向けた取り組み
- P.15 エコウイングあかし（明石市環境基本計画推進パートナーシップ協議会）
- P.16 ため池協議会
- P.16 ごみ減量推進員制度

ほかにも

明石市ミジックアカミカメ対策協議会
明石市保健衛生推進協議会

公共管理

- P.17 上ヶ池公園エントランス花壇 刻花壇等周辺地域の整備
明石市市民みどりサロン
- P.18 公園愛護会
- P.19 ローンボウル

道路整備

- P.19 道路アダプトプログラム
- P.19 交通安全総点検

地域活性

- P.20 天文科学館ボランティア（天ボラ）活動
- P.21 あかし楽講座
- P.21 ウォーキング推進
- P.22 あかし文化遺産マップの作成及び活用
- P.23 半夏生の日PR

ほかにも

春旬祭／明石薪能
明石市文芸祭／明石市芸術祭



DATA

担当：子育て支援課 形態：事業協力
市の役割：企業認定にかかる審査、事業周知イベントの開催

子育てにやさしい取り組みを積極的にやっている企業・団体を「あかし子育て応援企業」に認定し、広く市民にPRするな

への参加を呼びかけている。現在、市内148の企業・団体が認定を受けており、7月に開催したオープニングイベントで

は、認定企業が子育ての取り組みについて事例発表を行った。また10月には、認定企業が参加した「子育て応援メッセ」を開催し、18の認定企業がブースを出展し、PRを行った。その他の取り組みとして、認定企業からの提案により、「明石市こども基金」への寄附金付清涼飲料の自動販売機を市役所庁舎内に設置した。このように民間企業と協働し、市と企業が一体となって子育てを応援している。

CASE 01

民間企業と力を合わせ
子育てにやさしい
まちを目指す

「あかし子育て応援企業」

認定事業

ど、まち全体で子育てを支援する新たな取り組み。認定企業には、市から認定証を交付し「赤ちゃんの駅」への登録や、児童虐待防止の啓発活動である「オレンジリボンキャンペーン」への協賛、「明石市子ども基金」への寄附など、さらに積極的な子育て支援

は、認定企業が子育ての取り組みについて事例発表を行った。また10月には、認定企業が参加した「子育て応援メッセ」を開催し、18の認定企業がブースを出展し、PRを行った。その他の取り組みとして、認定企業からの提案により、「明石市こども基金」への寄附金付清涼飲料の自動販売機を市役所庁舎内に設置した。このように民間企業と協働し、市と企業が一体となって子育てを応援している。

協働の POINT

☑市と民間企業がそれぞれのメリットを活かして取り組んでいる



DATA

担当：青少年教育課 形態：委託
市の役割：子ども図書館運営への指導・助言

子育て中の保護者が気軽に集交流できる場を提供するため、平成20年に子ども図書館をオープン。平成22年からNPO法人に運営を委託した。ボランティアの協力を得てイベントを実施するなど、子育てや読書活動に興味がある人に運営してもらうことで充実したサービスを提供している。

CASE 02

ボランティア
の協力でサービスを
一層充実

みなくる
(子ども図書館)



乳幼児を連れて方々が、授乳やオムツ替えのために気軽に立ち寄りのできる施設として登録してもらい、子育て家庭の外出を支援しているのが「赤ちゃんの駅」。各施設の協力を得ることで、地域社会全体で子育てを応援する意識の醸成を図っている。

DATA

担当：子育て支援課 形態：事業協力
市の役割：表示ステッカーの配付と事業啓発

CASE 03
民間施設と協力
地域全体で
子育てを応援

赤ちゃんの駅



子育て中の親子や子育てに関心のある方などが遊びや体験などを通して学び、共に育ち合う場として市立幼稚園区28か所に設置。子育て学習室に参加する市民が運営を行い、市はアドバイザーを派遣し、運営の支援を行っている。

DATA

担当：子育て支援課 形態：委託
市の役割：運営のサポート

CASE 04
地域とウマく
役割分担

子育て学習室

子どもの居場所づくり！

放課後
子ども教室

放課後や休日に身近な施設を活用し、地域住民の協力を得て、子どもの居場所づくりを推進している。

青少年教育課

交流の場を提供！

移動プレイルーム
てくてく

地域の子育て支援ボランティアと共に臨時プレイルームを月1回開設し、子どもと保護者の交流の場を提供。

子育て支援課

地域で子育て支援！

こども夢文庫

地域の運営団体が絵本等を設置して読み聞かせを行うなど、地域で親子の居場所づくりを行っている。

子育て支援課

参加意識が向上！

成人式

新成人等による実行委員会を組織し、企画運営を行う。魅力ある内容で、多くの新成人の参加意識が向上。

青少年教育課

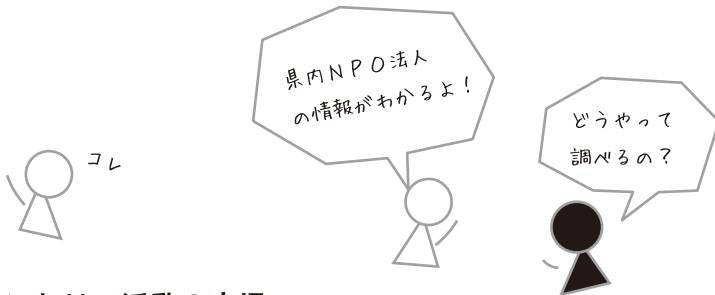
本への親しみ増！

ブックママ

図書ボランティアグループに本の読み聞かせなどを行ってもらうことで、子どもの本への親しみが増している。

学校教育課

News



『県民ボランティア活動の広場』

<http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/v-hyogo/>

上記 URL の「ひょうご NPO 法人情報公開サイト」で検索できます



協働の POINT

- ☑市職員と園児だけでなく、地域住民も一緒に取り組むことで、園や地域への愛着が深まる

DATA

担当：こども育成室 形態：補助
市の役割：活動への助言、消耗品費の支給

幼稚園の職員と園児が保護者や地域住民と一緒に、園舎内外

園児が自発的に花の世話をするなど教育的効果も現れている。

の方々の交流が生まれる。また、

CASE 05 「子ども」だって巻き込める！

幼稚園美化 緑化推進事業

の清掃・花壇整備・芝生の維持管理などを行うもので、市は活動への助言や、消耗品費の支給をしている。

自分達の手で幼稚園を綺麗にすることで、園や地域に対する愛着が深まるとともに、園児・保護者や地域



DATA

担当：青少年教育課 形態：補助
市の役割：補助金の交付、研修会の実施など

スクールガードは子どもの安全対策に取り組みボランティア活動で、市内全域で約5,000人

ている。また、スクールガード活動を広く市民に啓発するため広報を支援している。

CASE 06 安全性の向上は活動者の生きがいにも

スクールガード

が登録している。住民が連携して多くの目で子ども達を見守ることで、地域の安全性の向上に大きく寄与。また、地域のコミュニケーションが活性化し、活動者の生きがいづくりにも役立っている。市は補助金の交付、研修会の実施、情報交換の場の提供などを行っている。

協働の POINT

- ☑ 会議での情報交換を進めている
- ☑ 活動を啓発するため広報を支援している



協働の POINT

- ☑ 新たなパートナーを常に探している
- ☑ 継続させるため広く協力を呼びかけている

DATA

担当：消防本部予防課
 形態：事業協力、情報交換・提供
 市の役割：救急インストラクターの養成、
 備品の貸出し、講習会等の開催協力

市民のライフサポート事業として、より多くの市民に救命活

CASE 07 救命活動の普及啓発 市民をインストラクターに

救急インストラクター

市は、引き続き事業所等に対して、

動を普及・啓発するために救急インストラクターを育成。消防団員や県立大学看護学部 학생에 협력을求め、救急インストラクターの資格を取得し、講師として参加することで、より多くの市民に対しての救命活動の普及啓発ができ、また職員の業務削減にもつながっている。

しても救急インストラクターの養成講習を実施し、事業所等で実施する市民救命士講習に講師として参加してもらうなど、普及啓発活動に協力を求めている。また、救急インストラクター等が所属する事業所等で心肺蘇生等の研修を行う場合には、訓練用人体及び訓練用AEDを貸し出している。



市と地域がパトロールカーで子どもの見守り活動や防犯活動を実施している。自治会やPTAなど団体からの依頼で、地域住民と一緒に巡回するパトロールは年間約400回。地域住民が児童たちに直接声をかけることで、より高い効果が得られている。

CASE 08

自ら活動することで意識が高まる！

安全・安心パトロール

DATA

担当：総合安全対策局

市の役割：車の貸し出し（乗務員付）

意識啓発で事故予防！

交通安全 シルバーリーダー

交通安全に熱意ある高齢者が、地域に根付いた啓発を行い、交通安全意識の向上と事故の減少を旨とする。

交通安全課

青少年の健全育成！

青少年補導委員会

地域在住・在勤の補導委員が青少年へ声かけ、見守りなどを行うことで、青少年の健全育成が図れている。

児童生徒支援課

市民と安全な海岸を！

海岸モニター

海岸の危険箇所等に関する情報を海岸モニターに通報してもらい、より快適で安全な海岸づくりを進めている。

海岸課

地域の防災力UP！

地域の防災訓練を支援

地域の防災訓練の支援や、ハザードマップを活用した出前講座の実施により、地域の防災力向上を図っている。

総合安全対策局

コラム

富山県氷見市役所 フューチャーセンターという空間

平成26年5月、氷見市役所の新庁舎が完成し、廃校になった校舎をリノベーションした庁舎には、「フューチャーセンター」と呼ばれる場所がある。市民と行政が対話するために作られた空間だ。横は一面ホワイトボードという造りで、ワークショップ用のグッズも準備され、職員が対話の進行役である「ファシリテーター」になって打ち合わせができるようになっている。

フューチャーセンターは欧州から始まった概念で、地域の課題を中長期的に解決するために、企業や行政、NPOなどの組織が対話を通じて新たなアイデアや問題の解決手段を見つけ出し、互いに協力し、実践し協働するというものである。

市民と行政だけでなく、多様なセクター間での協働をどう生み出していけるかがこれからの時代に必要であるということだろう。今後の氷見市の取り組みに期待したい。

富山県氷見市 WEB ページ <http://www.city.himi.toyama.jp/>

防火・防災意識の啓発！

子ども 防火防災教室

婦人防火クラブ員が、園児等に防火・防災意識を啓発する取り組み。火遊びが原因の火災の防止に役立っている。

消防本部予防課

地域全体で安全確保！

こども110番の家

子どもが、いざという時に駆け込める家や店を登録してもらい、地域全体で安全が確保できている。

青少年教育課

道路の安全性向上！

道路安全モニター

道路の危険箇所等の情報を道路安全モニターに通報してもらい、安全性が向上。年間通報件数は約300件。

道路管理課



CASE 0-9

自主性を尊重する
だからこそ
独創的になる！

健康ソムリエ



協働の POINT

- ☑ 市民のやる気を醸成するため自主性を尊重、できるだけ情報提供・アドバイスのみにとどめる

DATA

担当：健康推進課
形態：事業協力、情報交換・提供
市の役割：健康ソムリエの養成、啓発備品の貸出、啓発チラシなどの提供など

健康ソムリエとはレストランで料理に合うワイン選びの手助けをするソムリエのように、市民の健康づくりをサポート

している。健康ソムリエのやる気を醸成するために、市は自主性を尊重するよう心がけている。市の人員だけでは難しい。説明するより市民に受け入れられやすいというメリットがある。

トする。市民自らが健康づくりに取り組むことができるように、「健康ソムリエ養成講座」を開催して人材を育成。健診受診・受動喫煙防止の啓発や健康づくり活動など、保健師と共に地域のイベントや出前講座で活躍している。健康ソムリエのやる気や、市民自らが啓発することや、市民自らが啓発することや、身近に感じてもらうことで、身近に感じてもらうこと

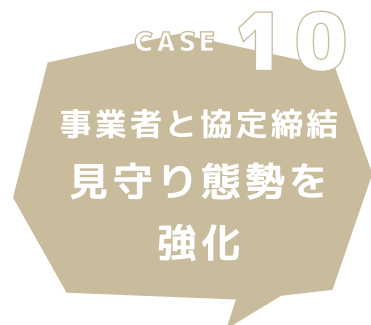
い、地域に根ざした活動が展開できるのが協働の成果。例えば仕事や家事・育児に忙しい30〜40歳の女性に狙いを絞った活動や、自作のタペストリーや寸劇で健診受診の必要性を啓発している。市がアプローチしにくい層に対して働きかけられること



ひとり暮らし高齢者等の緊急時の早期対応や孤独死などを防ぐため、高齢者と接する機会が多い配食サービス事業者と市が見守り協定を締結。高齢者の異変に気付いた場合、市に連絡をもらうシステムを構築している。安否確認の機会が増え、見守り態勢の強化が図られていることが成果。

DATA

担当：高年介護室 形態：事業協力
市の役割：通報時の対応、情報連絡会の開催



明石市高齢者見守りネットワーク事業



自治会・子ども会などの団体が、紙類などの回収を行う集団回収は、ごみ減量の大きな原動力である。市は市民の活動に対し助成金を交付し、事業者は資源物の回収・リサイクルを行う役割分担で、ごみの減量や地域の美化のほか、活動を通じて地域の交流・連帯感も生まれている。

DATA

担当：資源循環課 形態：補助
市の役割：助成金の交付、研修など



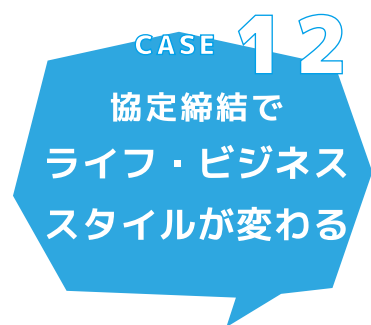
再生資源集団回収活動



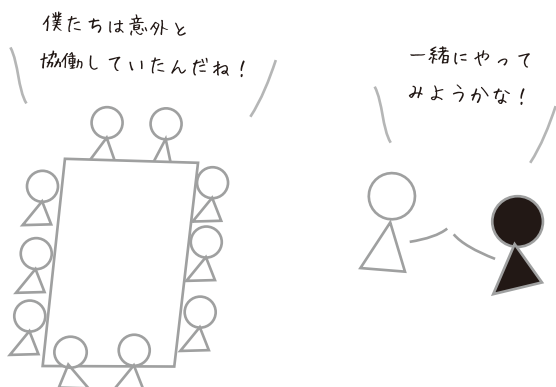
平成23年に事業者、明石市消費者協会、市の三者で「明石市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」を締結。レジ袋無料配布の取りやめを進めることで、市民のライフスタイルや事業者のビジネススタイルが、環境にやさしいものに転換することを目ざしている。

DATA

担当：資源循環課 形態：事業協力
市の役割：広報支援、啓発活動など



レジ袋削減に向けた取り組み



僕たちは意外と協働していたんだね！

一緒にやってみようかな！

自然環境を保全！

明石市ミシシippiアカミミガメ対策協議会

関係団体・市民団体と共に協議会を設立し、アカミミガメの防除や、自然環境の保全を行っている。

環境総務課

地域環境の美化！

明石市保健衛生推進協議会

地域の特性を活かし、一斉清掃や精霊流しの取りまとめを実施。地域の環境美化に貢献している。

環境総務課



CASE 13

企画段階から 参画しメンバーの やる気がUP!

エコウイングあかし

明石市環境基本計画推進
パートナーシップ協議会

エコウイングあかしは、「明石市環境基本計画」の見直し作業に参画したメンバーを中心に

設立された組織で、様々な企業、市民活動団体などを含む合わせて約80の団体・個人が加入しており、「ライフスタイル」「エネルギー」「自然」の3つのグループで構成されている。エコウイングあかしのメンバーは、環境に関する事業を企画し、独自で活動したり、市の各部署と連携した活動を行っており、市は事務局を担っ

っている。メンバーには県や学校など市以外の行政等とつながっている人が多く、最新の情報が入手しやすくなったり、新たな啓発の場が増えたりというメリットがある。協働を円滑に進めるために、市が内容を決定し参加を要請する形から、企画段階から声をかけ、参画を促す形に変更。メンバーのやる気・想いを企画に反映している。

DATA

担当：環境総務課

形態：事業協力、情報交換・提供

市の役割：事務局（会議場所の手配、事務連絡など）

協働の POINT

- ☑ 企画から参画を促し、メンバーのやる気を企画に反映



CASE 14 定期的な活動が 経費削減に貢献

ため池協議会

良好な水辺環境を保全するため、ため池や水路などを維持管理する水利組合と周辺に住む住民が、「ため池協議会（市内22

協議会が定期的に活動することで、漏水などの大きな問題の早期発見や、経費の削減に貢献している。

団体）を設立し、各種団体やボランティアと協力して、クリーンキャンペーンや水辺イベントなど様々な取り組みを展開している。住民が自ら環境整備にかかわるため、市の役割は活動に必要な消耗品などの提供や、技術支援にとどまっている。

また、地域間、世代間の交流や、子どもたちの環境学習の場にもなっていることも見逃せない。一方、活動を進めるなかで「ため池は市のもの」という意識が住民の中であり、自立意識の阻害要因となっていることが明らかになってきた。そこで、市の関与がなくても協議会が活動できるように、イベント時の進捗や、チラシ作成などの役割分担を適切に行なうことで、自立意識を高めるよう促している。

協働の POINT

- ☑ 適切な役割分担により自立意識を促す

DATA

担当：農水産課 形態：事業協力
市の役割：消耗品の提供、技術支援



ごみ減量意識の浸透を図るため、各校区連合のリーダーとしてごみ減量推進員を、単位自治会のリーダーとしてごみ減量推進協力を選出、市に登録している。推進員会議や、協力員への研修で意識啓発を行うことで、ごみの減量やリサイクルの推進につながっている。

DATA

担当：資源循環課 形態：情報公開・提供
市の役割：会議、研修会の開催など

CASE 15 推進員と協力員 ごみ減量化に 取り組む

ごみ減量推進員制度



協働の POINT

- ☑ 市民が直接要望を話し合える場を設置
- ☑ 情報発信により活動モチベーションを向上

DATA

担当：緑化公園課
 形態：事業協力
 市の役割：消耗品の提供、情報発信

CASE 16

熱い想いと高い 意識が事業に反映

上ヶ池公園エントランス花壇 とき刻花壇周辺の整備 明石市市民みどりサロン

上ヶ池公園エントランス花壇、刻花壇周辺の緑化整備を、緑化ボランティアグループと

協力で行っている。市は苗や消耗品などを提供し、緑化ボランティアグループは日常的に花壇の除草や水やりなどで花を育てている。業者委託と比べて、経費の削減だけでなく、グループにはより美しいものを作りたいという想いや、花を育てる強い責任感があることから、日々の手入れが行き届くというメリットがある。さらに、緑化に対する意識が高

いため、イベントなどに積極的に協力してくれる効果もある。協働のポイントは、活動内容を新聞や広報などで積極的に情報発信し、モチベーションを向上させること。また昨年度からボランティアグループと将来の明石のみどりを一緒に考える場「明石市市民みどりサロン」を開催。緑に関係する人やグループを集め、ニーズを聞き、市が求めていることなどを伝え、事業への反映方法を模索している。



CASE 17 地域コミュニティ を形成、コストも 苦情も大幅減！

公園愛護会

自治会・高年クラブ・子ども会など地縁関係の団体で構成されている公園愛護会は、市内約340の街区公園のうち、8割を占める約270の公園で結成されている。市から用具の提供を受け、住民自らが月2回以上のごみ拾いのほか、公園施設の点検や除草、夏場の灌水等を行っている。良好な環境を創出している。事業のねらいは公園の維持管理活動を通して、世代間の交流



を図り、地域コミュニティを形成すること。「自分たちの公園は自分たちで守り管理する」という想いで活動するので、住民の責任感が強くなり、結果的に市への苦情等の減少につながっている。また、経費の抑制にも大きく貢献している。業者等に公園の維持管理を委託した場合と比較すると、年間で約1,500万円以上の委託費の抑制につながっている。

市は、自治会長などに愛護会の仕組みを説明し、地域内で合意を得て自主的に会を結成してもらっている。また、愛護会から提案や要望があった場合、お互いにメリットがあるものや、費用のあまりかからないものについては、柔軟に対応している。工夫している点は、平成23年度から市全体の愛護会の総会をスタートさせ、情報共有や交流を図っていること。総会では、学識者の講演や市の表彰を行い、モチベーションを向上させるとともに、市の推薦で国土交通大臣賞を受賞した愛護会に、先進事例紹介として取り組みの発表をしてもらっている。また、従来の愛護会のマニュアルをわかりやすく改訂し、住民が活動しやすくなったことも工夫の一つ。

DATA

担当：緑化公園課
形態：補助
市の役割：謝礼金の交付、用具の提供

協働の POINT

- ☑ 表彰によりモチベーションUP
- ☑ 総会で先進事例の情報共有
- ☑ 住民が活動しやすいようマニュアルを改訂



協働の POINT

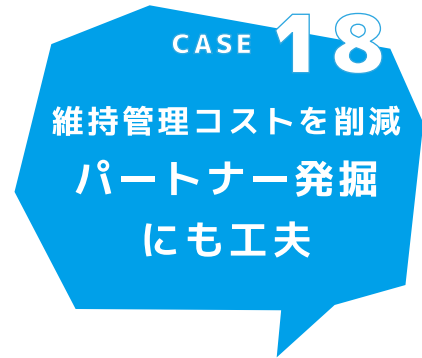
- ☑ 制度の利用を広く呼びかけて
パートナーを増やす

DATA

担当：道路管理課 形態：事業協力
市の役割：清掃資材等の提供

道路アダプトプログラムは、市民や事業者が、地域の生活にかかせない公共施設である道路の清掃や緑化等を行う事業で、市は活動に対し清掃道具などを

提供する。人員やお金をかけずに道路の美化等を進めることができ、市民や事業者は活動に対する満足感を得ることが出来る。道路脇の植栽の維持管理を業者委託すると年間1,000万円以上のコストが必要になるが、資材等の提供費用だけですむのは大きなメリットだ。道路敷きに許可なく花を植えている人に声をかけて制度の利用を働きかけるなど、パートナーの見つけ方を工夫し、同制度の利用者の拡大を図っている。



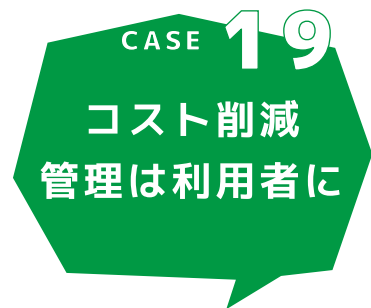
道路アダプトプログラム



DATA

担当：緑化公園課 形態：事業協力
市の役割：資材の提供

平成23年、ローンボウルクラブ A L B C から、十分な整備ができていなかった中崎ローンボウル場を利用したいとの申し入れを受け、市が使用できる状態に整備し、団体に芝刈や清掃など管理の協力を依頼した。これにより年間約25万円の維持管理費が削減できた。



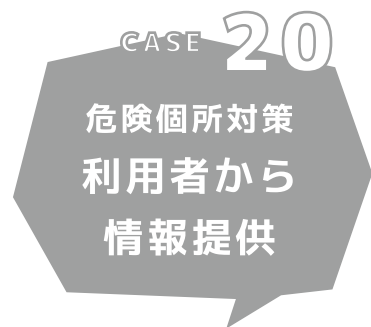
ローンボウル



DATA

担当：道路管理課 形態：情報交換・提供
市の役割：見回りの実施、見回り後の補修

学校や地域住民など様々な道路利用者の協力を得て、道路交差点環境の点検を行っている。危険箇所を市職員と地域住民が一緒に回り、対策を話し合っている。市と地域が一体となって取り組むことで、交通の安全を確保できることが大きな成果である。



交通安全総点検



CASE 21 生涯学習の 場の提供が 生みだす効果

天文科学館ボランティア (天ボラ) 活動

天文科学館開館50周年の展示リニューアルオープンに合わせ、ボランティア制度を導入。体験型の展示を取り入れたことで、展示と来館者を結ぶ「人」が重要な役割を果たしている。

天ボラの活動は、展示物の解説、天体望遠鏡の操作案内、キッズルームでの絵本読み聞かせなどで、来館者が楽しみ、喜ぶことが学習意欲の向上、知識を深めるなどの自己啓発につながっている。また、活動を通じて気付いた点や来館者の意見を伝えてもらい、ニーズを反映している。さらに、館内の施設や展示物に多くの目が行き届き、メンテナンスも向上。

星や天体、宇宙に関する知識を深めたい方への生涯学習の場の提供という当初の目的だけでなく、新たなサービスの提供や市民ニーズの集約などの成果を上げている。



DATA

担当：天文科学館
形態：事業協力、情報交換・提供
市の役割：ボランティア養成研修、活動費負担

協働の POINT

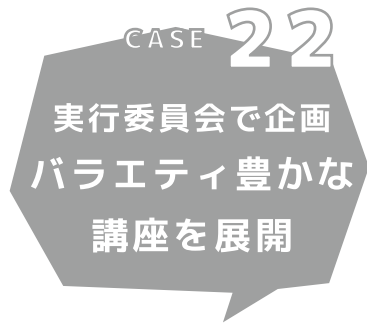
- ☑ 来館者の意見や活動して気付いた点を伝えてもらってニーズを反映



市主催の生涯学習事業「あかし楽講座」は、歴史家や教育者などで構成する「あかし学実行委員会」の協力の下に実施し、委員は専門知識と人脈を活かして企画を考え、講師を選定。市は開催日時・会場を調整し、広報を行う。こども対象講座など年間5講座程度を開講、毎年のべ参加者は300人を超える。

DATA

担当：生涯学習センター 形態：実行委員会
市の役割：開催日時・会場調整、広報事務など



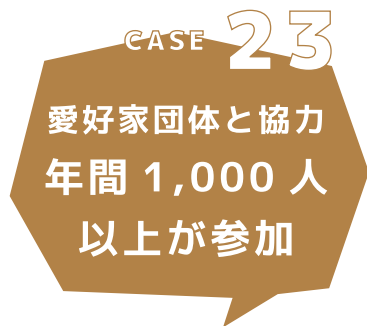
あかし楽講座



市民スポーツのすそ野を広げることを目的に、誰もが楽しめるウォーキングを推進するため、ウォーキングを愛好する市民の集まり「明石市ウォーキング協会」の事業に協力。協会の活発な活動により、年間延べ1,000人以上の市民がウォーキングイベントに楽しんで参加している。

DATA

担当：スポーツ振興課 形態：事業協力
市の役割：会議場所の手配、事務連絡など



ウォーキング推進

Books

地域に飛び出す公務員！

地域公務員という考え方

著者は元総務省職員。公務員はみんな地域に想いを持っている。そんな公務員だからこそ、一人ひとりが地域と多くの「つながり」を持つことで地域が活性化されていくということが事例を交えながら、わかりやすく紹介されている。



『地域に飛び出す
公務員ハンドブック』
地域から日本を変えよう

今井書店
椎川忍著

文化団体と連携！

明石市芸術祭

市内の文化団体と協力し、合唱、美術など7分野で芸術祭を開催。市は事務局を担い文化芸術活動全般を推進。

文化振興課

一緒にイベント企画！

春旬祭

中心市街地の商業者や明石商工会議所等と企画時から協力してイベントを実施し、地域活性化を図っている。

商工労政課

文学芸術活動を推進！

明石市文芸祭

市民と市が文芸祭実行委員会を組織。市民が文学作品の創作に取り組む機会を提供し、文芸活動を推進。

文化振興課

伝統文化を継承！

明石薪能

市民有志等による「明石薪能の会」が年1回薪能を開催。市は事務局として調整を担い、伝統文化の継承に寄与。

文化振興課



CASE 24

企画から関わってもらう 初の市内全域の マップが完成

あかし文化遺産 マップの作成及び活用

地域の歴史、文化を継承していく上で最も必要なものは地域住民の主体的な関わりである。市は有識者、ボランティアによる実行委員会を結成。あかねが丘学園のOBグループを中心に声をかけて徐々に参画者を増やしている。その結果、地域に残る有形、無形の文化財を含む文化遺産を対象にしたマップの企画作成過程から関わってもらうこ

とができた。月1回開催の実行委員会にボランティアも参加してもらい、調査方法などを一緒に検討、事業に取り入れた。従来なかった市内全域の文化遺産マップを作成したことで、市として文化財の普及啓発に寄与。また、ボランティアも、小中学生や一般向けのガイドに役立てるなど、協働で文化遺産の普及啓発・継承活動を推進している。



DATA

担当：文化振興課 形態：実行委員会
市の役割：実行委員会の招集、自治会等への調査依頼、広報事務など

協働の POINT

- ☑ 定例会議で市民と事業の進め方を検討
- ☑ あかねが丘学園OBに呼びかけパートナーを増やした



CASE 25

市民からの提案を実現 宣伝効果が 格段に向上

はんげしょう

明石半夏生たこまつりのPR

半夏生の日にタコを食べる習慣を広めることで、明石だこや明石のまちのPRを行い、まちの活性化を図ろうとする取り組み。これまで、飲食業組合や漁業組合連合会、商店街などの各種団体がそれぞれでイベントを企画・実施してきたが、市全体としてまちを盛り上げる取り組みとしたことの提案があり、市と各種団体との連携が始まった。



各種団体は、給食での明石だこの提供や明石だこのふるまいの際の調理などで連携・協力するとともに、小学校での出前授業などを行った。市は、広報支援や関係団体等との連絡・調整、市立小学校等で明石だこの給食の提供などを行った。

その結果、メディアに取り上げられる機会が格段に増えるなど宣伝効果が向上し、明石や明石だこのPR、まちのにぎわいづくりに貢献することができた。

DATA

担当：商工労政課・観光振興課・農水産課
まち再生室・明石市教育委員会

形態：委託、実行委員会

市の役割：関係団体等との連絡・調整、小学校で明石だこの給食を提供、広報支援など

協働のPOINT

- ☑ 各種団体の自主性を尊重しながら団体間の連携を図る
- ☑ 同じ目的を持つ団体間で協力して事業を実施